

平成31年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	17	議席 番号	1	氏名	渡 辺 佳 正 議員	1 / 1
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
1	北部地域の生活利便性向上と地域活性化の対策について	(1)	市街化調整区域における日用品店舗（店舗床面積1000㎡以下）出店の規制緩和について。 ① 北部地域で生鮮食料品や日用品を販売する商店の激減状況について、どう認識しているか。 ② 人口減少対策として独自の規制緩和をした御殿場市の取り組みについて、どう認識しているか。 ③ 富士宮市でも同様の規制緩和を行うと同時に、出店する日用品店舗の要件として、移動販売を行うことや、乱開発防止のための出店地域規制を設けたらどうか。	(2)	バス停留所までの足確保と宮タクを補完する買物・通院支援の手段として、小型ワンボックスカーなどを運行する考えについて。 ① 福祉の観点からの交通政策として、柚野・稲子地域で実施している仕組みの実験的实施を、北部地域の地区社協などに呼びかけてはどうか。 ② まだまだ利用が少ない宮タクの活用呼びかけについて、交通対策室だけでなく、福祉部門を初め、全庁的に取り組むべきと考えるが、いかがか。 (3) 国立病院機構静岡富士病院の跡地について、先端医療研究施設としての活用を検討したらどうか。 ① 住宅地域における病院跡地の活用には、宅地や工場より、医療・介護・福祉施設が最適だと考えるが、いかがか。 ② 市内外の医療器具や医薬品の企業、福祉・介護事業所などと、この跡地活用について検討したらどうか。 ③ 先端医療研究センターなどの誘致について、どう考えるか。	市長 病院長 関係部長
2	学校給食の地産地消推進と耕作放棄地・遊休農地活用対策を関連付けた事業の推進について	(1)	市内の生産者、加工・流通業者、農業団体、消費者、栄養士、行政職員などが参画する富士宮市学校給食食材供給団体（仮称）を設立して、農業を初めとする地域産業の振興と耕作放棄地・遊休農地活用を図ることについて、市長の見解を伺う。			市長 関係部長
3	緊急車両が通行できない狭隘道路の拡幅について	(1)	救急車や消防ポンプ車などの通行という人命に関わる拡幅工事は、優先的に実施すべきと考えるが、いかがか。 (2) このような狭隘道路の拡幅工事について、過去3年間の実績及び今後の実施計画について伺う。			市長 関係部長
4	放課後児童クラブのさらなる充実に向けて	(1)	大規模校などの待機児童の状況について、どう認識しているか。 (2) 待機児童問題の解消にどう取り組むのか。 (3) 指導員の処遇改善にどう取り組むのか。 (4) 児童数当たりの指導員数などについて、国が進めようとする基準緩和に対して、富士宮市はこれまでの基準を維持すべきだと考えるが、いかがか。			市長 関係部長